

レジメン名

alemtuzumab

出典 マブキャンパス適正使用ガイド2019年5月作成

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

再発又は難治性の慢性リンパ性白血病

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

休薬、中止又は再開基準

ベースラインの好中球が $500/mm^3$ 超で治療を開始、 $250/mm^3$ 未満となった場合、又はベースラインの血小板数が $25,000/mm^3$ 超で治療を開始した場合、 $25,000/mm^3$ 未満となった場合

初回発現時 休薬。好中球数 $500/mm^3$ 以上及び血小板数 $50,000/mm^3$ 以上に回復した場合、休薬時の用量で再開。7日以上休薬した場合、1日1回3mgで再開。

2回目発現時 休薬。好中球数 $500/mm^3$ 以上及び血小板数 $50,000/mm^3$ 以上に回復した場合、1日1回10mg又は休薬時の用量のいずれか低い方の用量で再開。7日以上休薬した場合、1日1回3mgで再開。

3回目発現時 投与中止

ベースラインの血小板数が $25,000/mm^3$ 以下で治療を開始、ベースラインの数値から50%以上減少した場合

初回発現時 休薬。好中球数及び血小板数がベースライン値に回復した場合、休薬時の用量で再開。7日以上休薬した場合、1日1回3mgで再開。

2回目発現時 休薬。好中球数及び血小板数がベースライン値に回復した場合、1日1回10mg又は休薬時の用量のいずれか低い方の用量で投与を再開。7日以上休薬した場合、1日1回3mgで再開。

3回目発現時 投与中止

1クール期間

総クール数

12週間まで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
アレムツズマブ(マブキャンパス)	3mg/body	生食or5%糖液 100mL	2時間	1日1回連日投与
1日1回3mgの連日点滴静注において、Grade3以上のinfusion reactionがみとめられない場合、10mgに増量				
アレムツズマブ(マブキャンパス)	10mg/body	生食or5%糖液 100mL	2時間	1日1回連日投与
1日1回10mgの連日点滴静注において、Grade3以上のinfusion reactionがみとめられない場合、30mgに増量				
アレムツズマブ(マブキャンパス)	30mg/body	生食or5%糖液 100mL	2時間	1日1回週3回隔日

1日投与順
(経時的にプレメタキソン・ホストメタキソン、
溶解液まで含む)

day1

- ①アセトアミノフェン400mg経口投与(マブキャンパスの投与30分前)
- ②ヒドロコルチゾン200mg+ポララミン5mg+生食50mL(15-30min)※
- ③マブキャンパス+生食or5%糖液100mL(2hr)
- ④生食50mL(フラッシュ用)

※臨床試験ではマブキャンパス投与1時間前にヒドロコルチゾンを投与していたが、サノフィ株式会社学術に確認したところ臨床では必ずしも1時間前に投与する必要は無いとの回答。

【サイトメガロウイルス感染対策】
ST合剤・抗ウイルス薬
※投与初日より感染予防を推奨。